

樫谷議員 私からは、最初に昨年完成しました海部病院の造成地の無償貸与契約の是非について、質問させていただきます。3月議会で森議員からの海部病院の用地造成費用と賃貸契約に対する質問で、福井町長は、「牟岐町の工事負担額は14億円で、このうち残土処理場使用料を減額すると8億9千万円、さらに補助金や交付税額等を減額すると6億8,800万円になります。このうち避難広場・避難路部分の工事費の町負担分が1億6,900万円、病院用地造成にかかる町負担額は約5億1,900万円となります。なお、病院用地の県との賃貸契約は、当初の約束どおり30年間無償で提供することとしています。」と答弁されました。徳島県に対して、病院用地造成にかかる費用を牟岐町は、5億1,900万円も負担し、その結果借金もその分増えたこととなります。先日、平成30年4月25日から5月30日にわたり、徳島新聞で「わがまちの財政」と題して、徳島県内24市町村の財政指標と各自治体の課題と現状が掲載されていました。皆さんもご覧になったと思われませんが、5月14日に掲載された牟岐町の記事をご紹介しますと、地方債残高が46億5,633万円、基金残高10億5,769万円、実質公債費比率6.5%、将来負担比率72.5%となっています。新聞記事の内容は、「南海トラフ巨大地震の浸水区域に立地する町役場の移転も急務だ。しかし、平成30年度当初予算で基金積み立てなどの措置は取っていない。庁舎新築は10億円以上を要するにもかかわらず、平成28年度末の基金残高は、10億5,769万円しかない。」と徳島新聞に掲載されていました。基金とは、家庭に置き換えれば貯金のようなものであり、地方債残高は借金に相当します。県内の町村では、借金より貯金の方が多い町村もございますが、牟岐町の現状は、約10億の貯金に対し約46億の借金ですから、貯金に比べて、借金が約4.6倍多い状況です。また、将来負担比率は72.5%で徳島県内の市を除く町村の中では、将来負担比率が一番厳しい状況にあります。このように財政状況が厳しい状況の中、また、役場庁舎建設に多額の費用が必要な状況でもあり、5億1,900万円も費やして、財政状況の脆弱な牟岐町が徳島県を支援できる状況ではないと認識しています。「30年間無償提供する。」との説明だが、この状況では3

0年を過ぎても永遠に無償提供し続けなければならないのではないか。無償提供ではなく相応の対価で売るか。または、有料で貸すのが妥当と思われるが町長の見解をお聞きし、つぎに庁舎の建て替えについて質問に移ります。南海トラフ巨大地震に向け庁舎建て替えは急を要する事項である。5案から2案に絞り込みが出来ているにも関わらずその後、耐震化・移転等検討委員会の協議も遅々として進んでおりません。まずは、その理由をお聞かせください。つぎに、耐震化・移転等検討委員会は、その後開かれたのか、開かれたのであればそれはいつか。南海トラフ巨大地震の浸水区域にあり、耐震化・移転等検討委員会が設置されたが、基金の積み立てなどの措置は未だとっていない。平成28年度末の基金残高は、10億5,769万円しかない。牟岐町は湯のさと鬼ヶ岩屋、西部保育所の売却後の税の措置なども工夫し、負担軽減につなげる必要があるとしながら、本議会に条例案が出ていないのはなぜか。また、この際、町所有の森林2箇所を使い道がないのであれば、売却の方向で庁舎建て替えの財源につなげてはどうか。このような現状を踏まえ、本町の損益を考え行動すべきときでないか。庁舎は、特に議場などは梅雨時期に入り、新聞紙を広げ、バケツを構え、今日は、大きな雨でないので、事務局長の頭の上からも雨漏りはありませんが、大きな雨であれば、頭の上からポツポツ、皆さんの頭の上から雨漏りする状況がいつまで続くのでしょうか。それよりも何よりも南海トラフ地震が起きたらどう対処するのか。一日も早い役場庁舎の移転建設が望まれるが、町長の見解をお聞きします。以上、2点について、答弁をお願いします。

杣富議長 福井町長。

福井町長 海部病院造成地の無償貸与契約の是非についてですが、国と県の関係、あるいは県と町の関係も、民間同士の関係と同じように、片方が一方的にもう片方を支援するというのではなく、互いに得るところ、負担するところがあり始めて信頼関係が築けると思っています。旧海部病院の津波対策としての高台移転は、平成23年以前からも検討されており、海部郡3町とも、我が町に病院が必要であると思っているが、町立病院では、費用も莫大にかかるし良い医者も

得にくく、運営が難しいことから、3町とも県立病院を我が町に建設してほしいとの要望があったと聞いています。平成23年に私が県にお願いに行った時、他町が納得しなければ牟岐町での改築はできないと言われ、また、水面下では、他町はこれまで町立病院の運営で苦勞してきたのに、牟岐町は何ら負担をしていないとの声もあったことから、牟岐町が移転用地を提供するというので、他町の理解も得、県の事業執行に繋がったと理解しています。また、県営の広域漁港整備事業や県道の整備では、町の負担率が10%から15%であるなど、県事業であっても町が10%余りを負担するのは、慣例となっています。海部病院の場合、病院施設だけで60億5千万円かかっており、接続県道も含めると70億円程かかっていると思われしますので、5億2千万円くらいの町負担は、ある程度、当然かと思われれます。そして、その支払いは、市町村振興資金から無利子で借入れ、毎年3千万円程度ずつ支払っていくこととなりますので、年間3千万円で病院経営をしていると思えば、非常に低廉な予算で運営できていると思います。さらに、30年経過後は、牟岐町の資産として、売却等も可能になると考えていますが、今、直ぐ処分をお願いするということは信義に反すると思っています。つぎに、役場庁舎の建替えについてですが、議員ご指摘のとおり、現在の役場庁舎は、耐震性も十分でなく、南海トラフ地震が発生した場合、倒壊の危険性もあります。したがって、南海トラフ地震の発生確率が70~80%に引き上げられた現在、早急に移転改築する必要があります。移転地については、昨年、『牟岐町役場庁舎移転改築検討委員会』からの答申もあり、2箇所の候補地を選定して頂いていますので、今後、できるだけ早く、町民の皆様にもご説明し、移転地を決定したいと考えています。以上です。

枅富議長 榎谷議員。

榎谷議員 再問します。今、テレビで盛んに行なわれています北朝鮮が中国、また、韓国、アメリカと盛んに若い首脳が国益を求めるとして、一生懸命に頑張っています。そういった意味では、まずは牟岐町も町益を考えるべきだと思います。パーセントで答弁いただきましたけども、30年間無償は議会にも何の話しもせず27年3月19日に契約しています。いったい誰が決めたのか。また、これをするによって何の牟岐町に利益があるのか、そういうことをお示しいただきたいと思います。それから、庁舎建て替えの件ですが、町長所信で本議会の所信で防災と地方創生を挙げられました。まさに防災ということ

を一番に挙げていたわけですが、庁舎建て替えは待ったなしの課題だと思えます。それについて、庁舎建て替えについてどのような工夫を今後なさっていくのか、お聞きしたいと思います。今、この間も地震がありましたけども、2箇所ですロースリップの確認がされています。南海トラフ、それと、千葉県沖、2日後の前に千葉県沖の地震がありました。南海トラフもロースリップが確認されたということは、待ったなしの状況だと思えますので、一日も早い役場庁舎の移転建設が望まれるということを町長に再認識していただきまして、少しでも早く庁舎の建て替えに進んでいただきたいと思えます。先程、質問しました耐震化移転等検討委員会、協議会は、まだされていないのですか。その後、5案から2案に絞って、その後、何もされていないのですか。1回もされていないのでしょうか。それをお聞きしたいと思います。それから、基金積み立てが今回も出ていないようですが、いつから基金積み立てをやっているのか。それも再問でお聞きしたいと思います。以上、答弁をお願いします。

枅富議長 福井町長。

福井町長 まず、海部病院建設用地の無償貸与契約ですけども、海部病院の建設を県にお願いしたと思うのです。議会の皆さんにもご相談したと思うのですけど、町の方で造成して県の方にお貸しするというふうな主旨のお話しは、無償ですね、してきたと思うのですけど、これは美波町、海陽町とも理解していただいたということで、そのときは五軒家町長だったのですけど、そういうことだったらやりなさいというようなことでおっしゃいました。県も最初からそういうことで理解して進めていくということですので、町に全く、皆さんに全くそういうふうな主旨のことをご説明していないということはないと思えますけども、それと庁舎の移転改築ということでよろしいでしょうか。庁舎の移転改築については、おっしゃるとおり、まだ検討委員会、今年度になって開かれていません。それは年度替りで、まだそこまで事務的に処理ができていないこともあるのですけど、まずデジタルの防災行政無線の方ということを再優先に

進めているということもありまして、なかなかいつぺんには進んでいないような状況です。それと基金積み立てですけど、役場の移転改築の基金という積立ではしていないのですけども、財政調整基金ということで、平成29年度分の繰越金を基金に積んでいくというところがあります。以上です。

枅富議長 榎谷議員。

榎谷議員 私の質問の中の答弁ができていないところがあります。それを再度お聞きしたいと思います。まずできていないところ、町長、分かりますか。私が一般質問した返事をもらっていないところ、分かりませんか。町長は私の質問をちゃんと聞いていないということですね。30年間、無償で提供する。議会にも何の説明もなく決めてきています。それは当たり前のような答弁でしたけども、他の町に聞いたらそうだったので、それを進めたということですか。それとは関係がないと思います。県立病院は徳島県下に3病院あります。中央病院、三好病院、そしてこの海部病院です。全て土地、建物は県がしています。県が負担しています。土地とかの町がそのお世話をするということは、やむを得ないというか、それはすべきだと思いますけども、県に土地を貸すということは、海部病院だけです。海部病院だけです。他は県が土地も建物も全て県がしています。どうして海部病院だけが無償でしなければいけないのですか。それだけ牟岐町は財源がありませんよ。それは県も知っていると思うのです。町長も尚更そのこと知っていると思います。どうして海部病院だけがそんな条件を出さなければならないのか、そしてまた、30年後といたら、誰がこの30年後見ますか。私達をはじめみんな死んでいます。殆どの方が、町長だって30年後なんか保証できますか。どうして30年という数字が出たのでしょうか。もう一度お聞きしたいと思います。

枅富議長 福井町長。

福井町長 私もお答えさせてもらっていたのですが、無償で県に土地を提供すると言ったのは、答弁でも説明しましたように、3町が当初からわが町にということで、誘致を進めていたのですが、2町は町立病院を運営していた。牟岐町は海部病院があったということで、これまで牟岐町は何の負担もなくやっけてきているということになって、なかなか牟岐町での改築が難しかった。それは他町からのそういうふうな批判もあったということなのですが、それでは牟岐町も土地を提供しましょうということで、海部病院を牟岐町での改築が決定したというふうな経緯があります。具体の契約書の内容というのは、30年間無償で提供する、その数字の部分というのは、確かに議会ではご説明していないと思いますけども、用地を無償で提供するというふうな主旨のお話は議会の皆さんにはしていたつもりでいるのですが、改築にあたってですね。県立病院の3つのうち、確かに他の県立病院というのは、県が自前でということなのですが、今はそういうような経緯もあって、牟岐町が県に貸しているということなのですが、その当時、中央病院の改築、これも耐震ですけど、それから三好病院の改築も先行してやっけていまして、病院局の運営というのも非常に厳しい中での海部病院の改築という選択をしていただいたということです。それと先程も申しましたように、今、病院はともかくとしまして、道路とか港湾の整備に当たっては、町の負担というのは一般的にあるということです。海部病院が牟岐町にあるということは、本当に牟岐町にとって町立の病院を運営することと比べれば、非常にその負担は少ないという中でやっけているということもご理解いただきたいと思います。一方的に県が上位組織だから県の行為を強要する甘えるというのでは、なかなか継続性が、それこそ、今はもし何らかの手段でうまくいっても、将来的な継続性がないというふうに認識していますので、そのときどきの関係でやっけていくのが一般的なやり方であるというふうに認識しています。以上です。

杓富議長 榎谷議員。

樫谷議員 まだ答弁頂けていません。条例案が出ていないのはなぜか。そして条例案はいつする予定なのかということと、今、牟岐町にきたからと言いますけども、もともと牟岐町にあったのです。よそから来たわけでないのです。牟岐町に海部病院があったのです。それを牟岐町で建てただけのことなのです。土地とかそういうふうなのは牟岐町がお世話しても、それを無償にするということは当てはまらない。それから、もう一つそれを無償にすることによって、牟岐町の何の益が出るのか、そういうところの話はできているのですか。県と。

枅富議長 最後の質問。

樫谷議員 30年無償ということで、牟岐町にとって何らかの益の話し合いができていますか。特に今、テレビで一生懸命に国と国とのやっているでしょ。あの若い北朝鮮の首脳が、あれは国益を考えてやっているのです。取り引きしているのです。一生懸命に。国益を考えてやっているのです。だから牟岐町は、そういったことで30年無償が続くということで、何らかの利益を得たのですかということ。何らかの取り引きがあるのですかということ。何かしてもらった他のことがあるのですかということ。そうでなかったら考えられないのです。30年も無償ということは。この財源、財政が厳しい中、他のこともできる事業もできないし、できる工事もできなくなっているでしょ。それも何もできなくなっているでしょ。うしろの総務課長も大変だと思いますよ。これをどないかするのも、少しでも牟岐町の利益を考えてやるのが首長の役目だと思います。しかも議会に何の相談もなしにやるということは、これは絶対に許したらいけないことだと思う。町長も選挙で選ばれている。私達も選挙で選ばれている。これは民主主義で、その中で考えていくというのが民主主義です。それをしなくて自分勝手にやるというのは、これは独裁者です。そうならないように、これからちゃんと説明もし、みんなと共有しながら話しをしていかなかったら、こういう問題がつきからつきに起こる可能性があります。

再々質問になりますけど、お願いします。

枅富議長 福井町長。

福井町長 牟岐町の利益というのは、私が町長にならせていただいたときに、海部病院を何とか牟岐町で改築して欲しいというふうな皆様のご要望があったと認識しています。先程、ご説明しましたように各町とも大きな負担をしながら町立病院の運営を進めています。これは地域の皆様のご要望に基づいてやっているのだと思うのですが、赤字で運営しているのです。その分、県立の海部病院がわが町にあれば、非常に牟岐町にとっても財政的に助かるし、利便性も助かるし、皆さんの安全性も上がる。そして30年間ということなのですが、その間にそういうふうな、今、言ったような牟岐町の負担というのが、町立病院を経営していたら、年間に1億、2億、3億というのが赤字で出ていっているような状況ですので、その分のマイナスがなくなるということで、3千万円負担していますけど、支払いですね。20年間、それに比べたら随分と少ないのではないかという意味での利益というふうにご理解いただけたらと思います。それと財産処分の条例ですか。それはまだ具体にはできていませんけども、できるだけ早く処分できそうになってきたら、なかなか人的にパッとできるような状況でありませぬので、できるだけ早くということをお願いしたいと思います。税の減免については、これも税の減免をそのままにしたらいいか、それとも税をいただいて、その分をお支払いしたらいいかというのは、まだどちらが得かというのがはっきりと片が付いていませんので、それが片付き次第、そういうような条例の提案もさせていただきたいと思っています。よろしくお願いします。

枅富議長 榎谷議員。

榎谷議員 他町の町立、確かに億という赤字を抱えています。海陽町にしても

赤字を毎年抱えていますけども、町の経営ですので、町が雇用にしても好きなようにできるわけです。逆に県立は好きなようにできません。旧の海部病院におられた夜間の臨時職員5名全部解雇になったのです。違う方がやっています。警備の方がやっています。そういった意味で雇用もマイナスになっていますし、そういったことを考えると、私はどうしても30年間無償、それから、こんなにも負担をかけながら財源も厳しい中、無償にするということも未だ納得がいきません。庁舎建て替えに足止めがかからないようお願いしたいと思います。鬼ヶ岩屋にしても西の保育所にしても未だに売れないのです。何年も経っているのに、それには思い切った税の権限、こういったことも考えてでないと、このままでは何年も売れないと思います。思い切った対策をやってほしいと思います。それを財源に庁舎建て替えの財源にしてほしいと思いますが、森林の方は一言も答弁をいただいていません。森林2箇所ある。今、管理費とかお金が要ることで、これ以上持っていて、2箇所ありますよね。売るといいう方向でも考えてみたらどうかという私の一般質問でしたけど、その答弁もまだいただいていませんが、そういったことを持っている分を売ってお金にするしかないのです。今、森林の方がどんなものが売れるか分かりませんが、そういったことも踏まえなかったら庁舎の財源をどうやって用意するつもりですか。再々質問になりますけど、まだ答弁をしてもらっていませんので、お願いします。

枅富議長 福井町長。

福井町長 おっしゃるとおり、牟岐町の活用されていない財産を処分して必要なところに充てるというのは、ご最もなのですが、森林につきましては、2箇所あるのですが、2町にまたがっているのですが、例えば、那賀町でしたら平米50円で買い取っているということもありますけども、これも予算があって買取りを進めているような状況ですので、また、その政策的に買収を進めているような状況ですので、牟岐町の持っている山林を買っていただけるか

どうかというのは、まだ打診をしていないのですが、一般的には買っていただけるというような話もあります。ただ、海陽町は一般的な施策として、森林を買っていないと思いますので、これはまた、新たな相談になると思うのですが、そういうことで新たに総務課の中にそういうふうな財産を処分するようなスタッフも揃えていますので、できるだけ早く、いっぺんにはなかなか進んでいかないのです。早く進めてまいりたいと思いますので、どうかよろしくお願いします。

杣富議長 榎谷議員。

榎谷議員 再再再質問させていただいていますが、どうしてもこの庁舎早くしないと、もし南海トラフ巨大地震が来た場合には、二進も三進もいかないと思うのです。たくさん課題はありますが、庁舎建て替えは第一において進めていただきたいと思いますので、海部病院の方もそういったことで、何とかその代わり旧の海部病院もどないかしてほしいというふうなことも話し合いの中で持っていけるような形で、とにかく町の利益を考えて、今後、町長には頑張ってくださいと思いますので、よろしくお願いします。以上、私の一般質問を終わらせていただきます。